

平成11年2月9日
東京都病害虫防除所

平成10年度 病害虫発生予察 特殊報 第3号

病害虫名： ブタクサハムシ

Ophraella communa LeSage, 1986

対象作物： ヒマワリ

1. 特殊報の内容

ヒマワリにおいてブタクサハムシによる食害を都下で確認した。

2. 発生経過

1998年8月中旬から下旬にかけて西多摩地域の複数の圃場でヒマワリを激しく食害するハムシが発生した。該当種は1997年昭島市、小平市においてブタクサに発生していることを確認していたが種名が不明であったため、東京農業大学総合研究所松沢春雄研究員に同定依頼したところブタクサハムシと同定された。

3. 形態・生態・分布

成虫はイチゴハムシに似るが多くの個体では上翅に特有の暗色の4縦条があり、日本の既存種とは容易に区別できる。成虫の体長は約4mm、体幅は体長の1/2ほどである。

本種は北米原産で日本においては1996年千葉県千葉市で最初に確認された。その後、埼玉・栃木・神奈川県など関東各地で生息が報告されている。最近では関西地方においても分布を広げている。

我が国における本種の生態調査などは緒についたところであるが、松沢氏によると成虫越冬、多化性で現在までに食草はブタクサ、オオブタクサ、オオオナモミ、キクイモ、ヒマワリが確認されていて、20~50個程度からなる卵塊をおもに葉裏に産卵するということである。

4. 被害

従来の高性一本立ちのタイプと園芸品種として最近生産が増えている矮性タイプのいずれでも発生を確認している。幼虫・成虫ともヒマワリの葉を食害する。夏から秋にかけては多発することがあり、1枚の葉に10頭以上の幼虫・成虫が混在して発生し、わずかに葉脈だけが残る状態となることがある。

5. 防除対策

(1)圃場への侵入を阻止するため周辺のブタクサ等の食草を処分する。

(2)疑わしいハムシの発生をみたら病害虫防除所へ連絡し種を確認することが望ましい。

ブタクサハムシ 成虫, 1997年10月2日小平市ブタクサより, 体長4mm



ヒマワリ葉を食害しているブタクサハムシ幼虫



ブタクサハムシによるヒマワリ葉の食害状況 1998年8月13日

